

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
15時40分21秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002010100	まなびの支援課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00934	こども110番見まもり活動支援事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	01	安全なまちづくり							
細節	20	防犯							
予算事業	10922	01	10	05	01	03	01	01	こども110番見まもり活動支援事業（社会教育総務費）
所属長	小西 正晃				担当者（内線） 曾谷 俊弘（669-302）				
根拠法令等	こども110番見まもり活動支援事業実施要領								
事業開始年度	19	直近の改正		なし					
改正内容	なし								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	各小学校区で組織されている見まもり隊		
目標	登下校時の子どもの安全を確保する		
結果	すべての子どもが健やかに育つまちの実現を図る		
事業概要	登下校時の子どもの安全を確保するために結成された「見まもり隊」に対し、市立全小学校区に見まもり安全活動に必要な消耗品（ナイロンジャンパー、メッシュベスト、キャップ、ビニール腕章、三色手旗）を支給する。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	913	983	842	847	842
人件費職員数(人)	0.50	0.50	0.30	0.30	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,085	3,950	2,416	2,416	795
総事業費(A+B)	4,998	4,933	3,258	3,263	1,637
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	4,998	4,933	3,258	3,263	1,637
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,998	4,933	3,258	3,263	1,637
財源計(G+D)	4,998	4,933	3,258	3,263	1,637

所属	まなびの支援課
事務事業番号	00934

2頁
平成30年 6月 8日
15時40分21秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	見まもり活動を実施している小学校区	校	目標値	36.00	36.00	36.00
			実績値	36.00	36.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	市内小学校の総数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	137.03	90.64	
			一般財源(千円)	137.03	90.64	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	見まもり活動に係る消耗品支給小学校区	校	目標値	36.00	36.00	36.00
			実績値	33.00	35.00	
			達成度(%)	91.70	97.20	
目標値の積算方法	市内小学校の総数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	149.48	93.23	
			一般財源(千円)	149.48	93.23	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
前年度比における通学路の見まもりに携わるボランティアの数及び保護事例	【ボランティア数】H28年度 約8,600名 H29年度 約9,900名 【保護事例】H28年度 3件、H29年度 0件

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。</p> <p>【指標数値の評価】 市内小学校全校には至らなかったが、概ね支給することができた。</p> <p>【今後の方向性】 見まもり活動に係る消耗品を各小学校区17,500円以内で支給することにより、少ない経費で子どもの安全確保に寄与していると考え。また、道路公園部が配布していた児童愛護旗を本事業で配布することにより、消耗品配布の窓口を一本化し、見まもり活動を行うボランティアの利便性に配慮している。各組織からも一定の評価を得ており、今後も事業の継続が必要である。</p>

事務事業分析シート

所属名	まなびの支援課	事業名	子ども110番見守り活動支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	00934				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。			
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。			
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。			
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
④公平性を確保するための取組みをしていますか。			
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	まなびの支援課	事務事業番号	00934
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>公平性、持続可能性については適正と言える。有効性、効率性については改善の余地がある。活動者は、安全なまちづくりの趣旨を理解し、子どもと地域の安全の担い手としての円滑な活動に役立っている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

平成17年度の制度発足時のみ大阪府から補助金(1校あたり50,000円)が支給されたが、以後は国・府ともに補助制度はなし。他市の状況としては、茨木市では、小学校(32校)に交付金(3万円)を支給し、各学校でジャンパー・帽子などを消耗品を購入している。高槻市では、セーフティボランティアとして、小学校(41校)で1,700人が登録しており、ベストとサンバイザーを配付している。登録者対象の交流研修会を年2回開催。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
15時45分38秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002010100	まなびの支援課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00935	地区公民館施設管理事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	02	生涯にわたり楽しく学べるまちづくり							
細節	20	社会教育施設等における生涯学習の推進							
予算事業	10950	01	10	05	03	01	01	01	地区公民館施設管理事業（公民館費）
所属長	小西 正晃			担当者（内線）	太田（669-304）				
根拠法令等	社会教育法 吹田市公民館条例								
事業開始年度	昭和36年	直近の改正	平成27年度						
改正内容	吹田市公民館条例について、千一地区公民館の位置表示の変更及び使用料の改定								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他			
対象	一定区域の市民			
目標	地域での多様な学習・文化活動に応えることのできる地区公民館諸施設の充実			
結果	地域市民の生活文化の向上、社会福祉の増進と生涯学習活動の支援			
事業概要	市民に地区公民館（29館及び1分館）を身近な生涯学習の場として安全・快適に利用してもらえるよう、施設の維持管理を行う。			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施			
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	地元連合自治会	
		委託先②		
		委託先③		
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	地区公民館管理業務（公民館受付業務等）	
		交付先①		
交付先②				
<input type="checkbox"/> その他	内容			

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	225,117	207,041	159,266	159,133	176,393
人件費職員数(人)	2.30	2.30	2.70	2.70	2.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	18,791	18,170	21,741	21,741	19,863
総事業費(A+B)	243,908	225,211	181,007	180,874	196,256
特定財源(C)	1,397	1,364	1,418	1,333	1,384
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	1,397	1,364	1,418	1,333	1,384
市負担(D)	242,511	223,847	179,589	179,541	194,872
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	242,511	223,847	179,589	179,541	194,872
財源計(C+D)	243,908	225,211	181,007	180,874	196,256

所属	まなびの支援課
事務事業番号	00935

2頁
平成30年 6月 8日
15時45分38秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	開館日数	日数	目標値	294.00	293.00	293.00
			実績値	288.00	288.00	
			達成度(%)	98.00	98.30	
目標値の積算方法	年間所定開館日数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	781.98	628.03	
			一般財源(千円)	777.25	623.41	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	地区公民館利用者数(主催講座参加者を除く)	人	目標値	438,060.00	436,570.00	436,570.00
			実績値	384,307.00	339,239.00	
			達成度(%)	87.70	77.70	
目標値の積算方法	室数(平成25年より149室)×2(午前・午後)×開館日数×0.5(主催講座以外の時間帯)×1室あたりの利用者10人	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.59	0.53	
			一般財源(千円)	0.58	0.53	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。</p> <p>【指標数値の評価】 平成29年度は利用者数が減少しているため、より利用しやすい施設になるよう利用者ニーズの把握が必要である。</p> <p>【今後の方向性】 地域住民のための公民館の維持管理及び老朽化の進行が予想される施設(平成28年度公民館全体の老朽化率46.9%)の整備・充実は、生涯学習社会の形成に欠かせない事業である。費用対効果の面から見ると、地区公民館の管理業務の一部を各地域の連合自治会等に委託し、施設の維持補修や経理事務等はまなびの支援課が集中・一括して行うことで、最小の経費で地域における身近な生涯学習施設である地区公民館の機能維持と施設管理</p>

事務事業分析シート

所属名	まなびの支援課	事業名	地区公民館施設管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	00935				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	76	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>地域住民のための公民館の維持管理及び老朽化の進行が予想される施設(平成28年度公民館全体老朽化率46.9%)の整備・充実、生涯学習施設の形成に欠かせない事業である。費用対効果の面からみると、地区公民館の管理業務の一部を各地域の連合自治会等に委託し、施設の維持補修や経理事務等はまなびの支援課が集中・一括して行うことで、最小の経費で地区公民館の機能維持と施設管理を行い、市民へ多くの身近な生涯学習の場の提供ができていると考えている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

吹田市を除く北摂6市については、公民館の管理運営について市が直営で行っており、吹田市のように地域の連合自治会等に管理を委託している例がないため比較対象がないが、地域の連合自治会に低コストで公民館の管理業務の委託業務の遂行が可能であるため、今後も継続する予定である。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
15時47分25秒 作成

評価年度	平成29年度	所属	5002010100	まなびの支援課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事業番号	00936	千里ニュータウンプラザ施設管理事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	02	生涯にわたり楽しく学べるまちづくり							
細節	20	社会教育施設等における生涯学習の推進							
予算事業	10951	01	10	05	03	01	01	02	千里ニュータウンプラザ施設管理事業（公民館費）
所属長	小西 正晃				担当者（内線）	太田（669-304）			
根拠法令等	社会教育法 吹田市公民館条例								
事業開始年度	平成24年度	直近の改正			平成27年度				
改正内容	吹田市公民館条例について、千一地区公民館の位置表示の変更及び使用料の改定								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	南千里地区公民館		
目標	施設の適切な管理による良好な施設環境の維持		
結果	地域市民の生活文化の向上、社会福祉の増進、及び市民の生涯学習活動の支援		
事業概要	南千里地区公民館の施設の維持と市民に身近な生涯学習の場として安全・快適に利用してもらえよう、適切な施設の管理運営を行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	平成43年まで、建設・設計、施設維持管理、長期修繕業務については吹田南千里PFI株式会社が行う。	

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	44,065	43,376	42,162	41,704	43,007
人件費職員数(人)	0.30	0.30	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	2,451	2,370	808	806	795
総事業費(A+B)	46,516	45,746	42,968	42,510	43,802
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	46,516	45,746	42,968	42,510	43,802
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	46,516	45,746	42,968	42,510	43,802
財源計(C+D)	46,516	45,746	42,968	42,510	43,802

所属	まなびの支援課
事務事業番号	00936

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	開館日数	日数	目標値	294.00	293.00	293.00
			実績値	288.00	289.00	
			達成度(%)	98.00	98.60	
目標値の積算方法	年間所定開館日数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	158.84	147.09	
			一般財源(千円)	158.84	147.09	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	地区公民館利用者数(主催講座参加者を除く)	人	目標値	26,460.00	26,370.00	26,370.00
			実績値	31,315.00	28,181.00	
			達成度(%)	118.30	106.90	
目標値の積算方法	室数(9室)×2(午前・午後)×開館日数×0.5(主催講座以外の時間帯)×1室あたりの利用者を10人とする	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1.46	1.51	
			一般財源(千円)	1.46	1.51	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	【今後の方向性】南千里地区公民館が千里ニュータウンプラザの一部を占有する限りにおいて、継続して費用を支出する必要があり、平成43年まで事業は継続する予定である。

事務事業分析シート

所属名	まなびの支援課	事業名	千里ニュータウンプラザ施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00936				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	70	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>この事業については、PFI事業のため、他市との比較が困難であるが、南千里地区公民館はニュータウンプラザに移設し、利用者が増大した。施設管理経費についてはPFI事業のため一定している。サービスの水準についても一定に保たれ、利用者は快適に利用できることから、今後の利用者の増加が期待できる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
15時50分22秒 作成

評価年度	平成29年度	所属	5002010100	まなびの支援課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00937	地区公民館事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	02	生涯にわたり楽しく学べるまちづくり		
細節	20	社会教育施設等における生涯学習の推進		
予算事業	10952	01	10	05
所属長	小西 正晃	03	02	01
根拠法令等	社会教育法、吹田市公民館条例			
事業開始年度	昭和36年度	直近の改正	平成27年度	
改正内容	吹田市公民館条例について、千一地区公民館の位置表示の変更及び使用料の改定			
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	一般市民		
目標	地域の特色を活かした各種講座の開設により、地域住民に身近に学習機会を提供し、生涯学習の支援を図る。		
結果	生涯学習社会の形成を図る。		
事業概要	趣味や教養、現代的課題など、生活に即した講座を通じて地域住民の生涯学習活動の支援を図る。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	管理運営のみ連合自治会へ委託	

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	14,383	13,290	14,383	13,174	15,637
人件費職員数(人)	0.76	0.76	0.80	0.80	0.80
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	6,210	6,004	6,442	6,442	6,356
総事業費(A+B)	20,593	19,294	20,825	19,616	21,993
特定財源(C)	843	657	668	641	696
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	843	657	668	641	696
市負担(D)	19,750	18,637	20,157	18,975	21,297
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	19,750	18,637	20,157	18,975	21,297
財源計(C+D)	20,593	19,294	20,825	19,616	21,993

所属	まなびの支援課
事務事業番号	00937

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	地区公民館主催講座の延べ開催件数	件	目標値	2,842.00	2,832.00	2,832.00
			実績値	1,849.00	1,984.00	
			達成度(%)	65.10	70.10	
目標値の積算方法	293日(年間開館日数)÷3(3日に1度開催するとして)×29館	単位当たりコスト	総事業費(千円)	10.43	9.89	
			一般財源(千円)	10.08	9.56	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	地区公民館主催講座の延べ受講者数	人	目標値	56,840.00	56,640.00	56,640.00
			実績値	53,064.00	57,431.00	
			達成度(%)	93.40	101.40	
目標値の積算方法	2832件(主催講座目標数)×20人(1講座定員20人として)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.36	0.34	
			一般財源(千円)	0.35	0.33	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。</p> <p>【指標数値の評価】 講座数は減少したものの、受講者数が増加しており事業成果は妥当である。</p> <p>【今後の方向性】 地域に根ざし、地域に最も近い歩いて行ける場所で生涯学習社会の形成を担っている事業である。各地区公民館では主催講座を実施し、学習内容については現代的課題や地域住民のニーズに対応して企画されており、受講者から高い評価を得ている。また、グループ活動を通じて地域住民の交流や地域コミュニティの醸成にも寄与している。</p>

事務事業分析シート

所属名	まなびの支援課	事業名	地区公民館事業	事業区分	その他
事務事業番号	00937				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
b. 実施意義は今もある。(3点)	3点		
④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。			
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点		
④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。			
b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。			
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
④公平性を確保するための取組みをしていますか。			
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>地区公民館事業については、「歩いて行ける身近な学びの場」としての利点を活かし、魅力的な講座を企画して、市民に学びをとおして心豊かな生活をおくってもらうことが重要である。講座も趣味・教養に偏ることなく現代的な課題や地域の問題に対応した講座を企画していくとともに、部内に専門知識をもった職員が多くいる利点を生かし、引き続き連携して高齢者ストレッチや図書、地域の歴史を提供し、「専門施設に行かなくても近くでさまざまなことが学べる」地区公民館づくりをさらに推進する必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

小学校区ごとに公民館を設置している市町村は少ない。地域住民が企画運営委員となって、事業の企画や運営を行うことにより、地域の課題やニーズを取り入れた内容となっている。他の自治体の公民館講座は趣味や教養が大きな割合を占めているのに対し、吹田市の各地区公民館は健康づくりや高齢化など、現代的課題に向き合った講座を多く開催している。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
15時55分59秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002010100	まなびの支援課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00938	地区公民館文化祭事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	02	生涯にわたり楽しく学べるまちづくり							
細節	20	社会教育施設等における生涯学習の推進							
予算事業	10953	01	10	05	03	02	01	02	地区公民館文化祭事業（公民館費）
所属長	小西 正晃			担当者（内線）		市場（669-306）			
根拠法令等	社会教育法、吹田市公民館条例								
事業開始年度	36	直近の改正		平成27年度					
改正内容	吹田市公民館条例について、千一地区公民館の位置表示の変更及び使用料の改定								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	地区住民を含む市民		
目標	日頃の公民館活動の成果を発表する場として、講座や同好会等による作品展示や演芸発表等を通じて地域文化の振興と、市民の生涯学習に対する意欲の高揚に資するとともに、公民館と地域との連携を図る。		
結果	生涯学習社会の形成を図る。		
事業概要	講座や同好会等による作品展示や演芸発表など日頃の公民館活動の成果を発表し、地区住民との連携を図る。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①		地区公民館文化祭実行委員会	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	7,353	7,348	7,353	7,270	7,353
人件費職員数(人)	0.04	0.04	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	327	316	806	806	795
総事業費(A+B)	7,680	7,664	8,159	8,076	8,148
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	7,680	7,664	8,159	8,076	8,148
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	7,680	7,664	8,159	8,076	8,148
財源計(C+D)	7,680	7,664	8,159	8,076	8,148

所属	まなびの支援課
事務事業番号	00938

2頁
平成30年 6月 8日
15時55分59秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	地区公民館文化祭作品等出品点数	件	目標値	16,000.00	16,000.00	16,000.00
			実績値	14,523.00	14,337.00	
			達成度(%)	90.80	89.60	
目標値の積算方法	過去5年間の地区公民館文化祭作品等出品点数実績で、最多であった年の出品点数の近似値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.53	0.56	
			一般財源(千円)	0.53	0.56	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	地区公民館文化祭参加者数	人	目標値	43,000.00	43,000.00	43,000.00
			実績値	42,139.00	37,441.00	
			達成度(%)	98.00	87.10	
目標値の積算方法	過去10年間の地区公民館文化祭参加者数実績で、最多であった年の参加者数の近似値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.18	0.22	
			一般財源(千円)	0.18	0.22	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。</p> <p>【指数数値の評価】 成果指標である参加者数が減少しているため、事業については広報を工夫するなど改善の余地がある。</p> <p>【今後の方向性】 地区公民館文化祭には、毎年多くの市民が参加しており、公民館の存在や活動を市民にPRする場としての効果は大きく、本市の生涯学習の推進に寄与している。</p>

事務事業分析シート

所属名	まなびの支援課	事業名	地区公民館文化祭事業	事業区分	その他
事務事業番号	00938				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	10	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		c. 迅速なサービス提供はあまり考えていない。(1点)	1点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
評価点合計 (100点満点)	70	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>地区公民館文化祭は、公民館における生涯学習活動の成果を発表する場であり、全体で4万人前後の参加者を誘うとともに、地域の交流や人の輪(和)を育む大切な場となっている。講座や同好会等の作品展示や演芸発表を通して地域の文化振興と、市民の生涯学習への意欲の高揚に貢献するとともに、地区公民館の講座などの事業を知ってもらう貴重な機会となっている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

他の市町村の公民館では、文化祭を実施していないところもある。しかし、吹田市においては、原則として各小学校区ごと、すなわち「歩いて行ける身近な」場所に地区公民館が設置されている利点を活かし、すべての地区公民館で文化祭を実施している。地域住民が実行委員会を構成し、実施主体となっているため、市民との協働による生涯学習の推進に寄与している。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
15時58分06秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002010100	まなびの支援課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00939	生涯学習推進本部事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	02	生涯にわたり楽しく学べるまちづくり							
細節	10	生涯学習推進体制の充実							
予算事業	10997	01	10	05	10	01	01	01	生涯学習推進本部事業（生涯学習費）
所属長	小西 正晃			担当者（内線） 荻野（IP45-669-308）					
根拠法令等	社会教育法、第3次生涯学習（楽習）推進計画								
事業開始年度	平成18年度	直近の改正			なし				
改正内容	なし								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	講座やイベントなどの学習情報や活動の場となる施設の情報、指導者の情報、一緒に活動できる仲間の情報、団体の活動状況の広報等を求めている市民		
目標	講座やイベントなどの学習情報や活動の場となる施設の情報、指導者の情報や一緒に活動できる仲間の情報や団体の活動状況の広報をすることにより、「いつでも・どこでも・だれでも」学習できる環境を整える。		
結果	市民の学習ニーズの多様化・専門化に応える事により、個人が生きがいや充実した生活を実現し、学んだ人が学習の受け手にとどまることなく創り手としてその成果を社会に発信することにより生涯学習社会の形成を図る。		
事業概要	第3次生涯学習（楽習）推進計画に基づき、「現代的課題の学習の推進による複雑化した時代を生き抜く力の育成」「スポーツを取り入れた学習の推進による健やかな心身づくり」等を中心に施策を推進している。 市内にある6大学・研究機関がある利点を生かし、市の各所管の事業だけでなく、各大学や研究機関の市民向け事業の情報も発信する等、より多くの生涯学習を行う際の情報提供を行っている。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	2,827	2,569	2,526	2,441	2,597
人件費職員数(人)	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,902	4,740	4,832	4,832	4,767
総事業費(A+B)	7,729	7,309	7,358	7,273	7,364
特定財源(C)	8	0	6	0	5
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	8	0	6	0	5
市負担(D)	7,721	7,309	7,352	7,273	7,359
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	7,721	7,309	7,352	7,273	7,359
財源計(G+D)	7,729	7,309	7,358	7,273	7,364

所属	まなびの支援課
事務事業番号	00939

2頁
平成30年 6月 8日
15時58分06秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	出前講座の開催回数	回	目標値	36.00	36.00	36.00
			実績値	51.00	51.00	
			達成度(%)	141.70	141.70	
目標値の積算方法	出前講座を月3回実施した場合の年間の開催回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	143.31	142.61	
			一般財源(千円)	143.31	142.61	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	出前講座の受講者数	人	目標値	720.00	720.00	720.00
			実績値	981.00	767.00	
			達成度(%)	136.30	106.50	
目標値の積算方法	出前講座を月3回(1回あたり20人受講)実施した場合の年間の受講者数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	7.45	9.48	
			一般財源(千円)	7.45	9.48	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。</p> <p>【指数数値の評価】 目標を上回っており事業成果は妥当である。</p> <p>【今後の方向性】 生涯学習情報のニーズは高く、各種の講座情報等の生涯学習情報誌の発行状況においては、次回発行時にはほぼ在庫がなくなる状況となっている。平成29年度よりバーチャル生涯学習センターをまなびの支援課のホームページにたちあげ、講座の動画配信を開始した。インターネットのみでは情報格差が広がる懸念があり、また、生涯学習情報を集約した手軽に持ち歩ける紙媒体での情報についても、必要不可欠なものと考えられ、冊子及びホームページの内容の充実を図ることで、さらに生涯学習情報の発信を充実させていく。</p>

事務事業分析シート

所属名	まなびの支援課	事業名	生涯学習推進本部事業	事業区分	その他
事務事業番号	939				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>第3次吹田市生涯学習(楽習)推進計画の策定が進んだことにより、前年度課題となっていた有効性について改善が図れたと考えている。妥当性については社会状況の変化等に対応できるよう、市民のニーズに応えた事業を実施し、市民の生涯学習に資する情報を提供していく必要がある。効率性については、各施設や部署の生涯学習にかかる意識を啓発し、既存の事業と連携する形で事業効率の向上について検討が必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

生涯学習推進計画を策定している自治体もあるが、「現代的課題の学習の推進による複雑化した時代を生き抜く力の育成」、「スポーツを取り入れた学習の推進による健やかな心身づくり」などが特徴的な点となっている。
 市内に多くの大学や研究機関がある利点を活かし、市の各所管のみならず各大学や研究機関の市民向け事業の情報も発信し、市民が生涯学習を行う際の情報提供に努めている。
 また、まなびの支援課のホームページ上にバーチャル生涯学習センターを作成し、講座動画の配信を行い、「いつでも、どこでも、だれでも」学べる環境づくりに努めた。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
16時01分04秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002010100	まなびの支援課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00940	生涯学習吹田市民大学事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	02	生涯にわたり楽しく学べるまちづくり							
細節	10	生涯学習推進体制の充実							
予算事業	10999	01	10	05	10	01	02	01	生涯学習吹田市民大学事業（生涯学習費）
所属長	小西 正晃			担当者（内線） 荻野（1P45-669-308）					
根拠法令等	社会教育法、第3次生涯学習（案習）推進計画、生涯学習吹田市民大学設置要領								
事業開始年度	平成20年度		直近の改正		なし				
改正内容	なし								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	市民		
目標	生涯学習吹田市民大学講座を実施することにより、生涯学習に対する市民の意欲を引き出し、「いつでも、どこでも、だれでも」学べる環境を整備する。		
結果	生涯学習吹田市民大学講座を実施することにより、年齢を問わず市民の生涯学習活動を支援することにより、市民の生涯学習活動を支援する。		
事業概要	<p>生涯学習吹田市民大学は、学びを通じて様々な生涯学習活動の契機となり、人生をより豊かにするための教養を深める学びの場として平成20年に開設された。「特別講座」と「大学連携講座」により構成されている。</p> <p>「特別講座」は、社会情勢や現代的課題を学ぶ社会教育の場として開催する。</p> <p>「大学連携講座」は、関西大学・千里金蘭大学・大阪学院大学の3大学と連携し、それぞれの大学の長を生かした講座を企画し、実施をする。</p>		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
□ 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
□ その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,897	1,338	1,897	1,484	1,697
人件費職員数(人)	0.40	0.60	0.60	0.60	0.60
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	3,268	4,740	4,832	4,832	4,767
総事業費(A+B)	5,165	6,078	6,729	6,316	6,464
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	5,165	6,078	6,729	6,316	6,464
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	5,165	6,078	6,729	6,316	6,464
財源計(G+D)	5,165	6,078	6,729	6,316	6,464

所属	まなびの支援課
事務事業番号	00940

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	生涯学習吹田市民大学特別講座の開催回数	回	目標値	9.00	9.00	9.00
			実績値	6.00	10.00	
			達成度(%)	66.70	111.10	
目標値の積算方法	生涯学習吹田市民大学特別講座を地区公民館で3館実施するものとし、1コースが3回連続講座で実施した場合の開催回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,013.00	631.60	
			一般財源(千円)	1,013.00	631.60	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	生涯学習吹田市民大学大学連携講座の開催回数	回	目標値	15.00	15.00	15.00
			実績値	18.00	18.00	
			達成度(%)	120.00	120.00	
目標値の積算方法	生涯学習吹田市民大学大学連携講座を3大学で実施するものとし、各大学5回講座を実施した場合の開催回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	337.67	350.89	
			一般財源(千円)	337.67	350.89	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	生涯学習吹田市民大学特別講座の延受講者数	人	目標値	270.00	270.00	270.00
			実績値	160.00	530.00	
			達成度(%)	59.30	196.30	
目標値の積算方法	生涯学習吹田市民大学特別講座を地区公民館で3館で3回連続講座で実施するものとし、定員30名が受講した場合の受講者数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	37.99	11.92	
			一般財源(千円)	37.99	11.92	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	生涯学習吹田市民大学大学連携講座の延受講者数	人	目標値	2,400.00	2,400.00	2,400.00
			実績値	1,989.00	2,008.00	
			達成度(%)	82.90	83.70	
目標値の積算方法	生涯学習吹田市民大学大学連携講座を各大学で4回実施するものとし、定員200名が受講した場合の受講者数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	3.06	3.15	
			一般財源(千円)	3.06	3.15	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標
成果内容		達成状況

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】事業費は適切である。【指標数値の評価】目標を上回っており事業成果は妥当である。</p> <p>【今後の方向性】生涯学習吹田市民大学は、市民が学びを通じて様々な生涯学習活動の契機となり、人生をより豊かにするための教養を深める「学びの場」となるよう今後も事業を継続する。</p> <p>「特別講座」については、現代的課題に関する内容について市民が気軽に学べることに重点を置き事業を展開するため、今後は、地域の学びの場である地区公民館において、地区公民館と共催で実施をすることで、身近な場所で現代的課題について学ぶことのできる場所を提供していく。「大学連携講座」については、応募者数も多く、抽選となるコースも見られる。受講者アンケートの結果より、「大学のキャンパスで勉強できることが貴重だった」「専門的な話を聞けてとても勉強になった」といった感想がほとんどであり、受講生の反応も好評である。今後も、男女共同参画の視点を持ちながら、各大学の特長を生かした講座を企画できるよう、主体的に取り組み、各大学との連携をより深めながら講座展開していく。</p>

事務事業分析シート

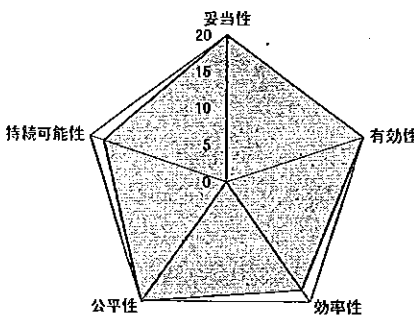
所属名	まなびの支援課	事業名	生涯学習吹田市民大学事業	事業区分	その他
事務事業番号	940				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	96	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>公平性・有効性については適正である。持続可能性については、専門知識をもった職員を活用するなど、事業費の抑制を図ることにより改善することができた。効率性については、各大学が独自に実施している市民向け公開講座との関係性を整理し、事業の内容を見直す等、事業効率の向上に向けた検討が必要である。また、現代的課題についての学びの場をより多く提供し、より深い学びを得ることが必要であると考察する。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

大学との連携講座は、他の市町村と比較して市内に大学が多くある利点を活かし、各大学の学部や教員の特色が出るとともに、専攻の教員による現代的課題を扱った講座が展開できている。特別講座においては、他の市町村では趣味や教養に偏りがちであるが、高齢化、防災、健康づくりといった現代的課題を扱った講座を展開できている。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
16時07分17秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002010100	まなびの支援課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00941	生涯学習講座等事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	02	生涯にわたり楽しく学べるまちづくり		
細節	10	生涯学習推進体制の充実		
予算事業	11000	01	10	05 10 01 03 01 生涯学習講座等事業（生涯学習費）
所属長	小西 正晃	担当者（内線）荻野（IP45-669-308）		
根拠法令等	社会教育法			
事業開始年度	平成24年度	直近の改正	なし	
改正内容	平成24年4月1日付けの組織改正により、中央公民館が生涯学習課に統合され、中央公民館事業の見直しを行い、生涯学習講座等事業を実施			
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市民		
目標	子育て講座や障がい者を対象にした講座、他市との連携講座を実施することにより、多くの市民に学習機会を提供し、生涯学習の支援を図る。		
結果	「いつでも、どこでも、だれでも」学ぶことができる環境を整え、生涯学習社会の実現を図る。		
事業概要	<p>社会教育法第3条及び第5条に基づき、教育委員会の事務として掲げられている「家庭教育に関する学習の機会を提供するための講座の開設」「家庭教育に関する情報の提供」として家庭教育学級の開設、子育て教室を実施をする。</p> <p>なお、「子育て教室」は保育付きで実施をすることで、就学前の子を持つ親が学習をする機会を提供する。「おやこであそぼ講座」は子どもへの生涯学習の場として学習の機会を提供する。「子育て教室」「おやこであそぼ講座」はそれぞれ、公民館との共催で実施をしていることから、公民館への若い世代の参画にも寄与している。</p> <p>また、障がいを持つ人が、生活の向上に必要な知識を得るための学習の場の提供や、三島地区の市町村が連携して講座を企画することにより、市民により広範な講座内容を提供する。</p>		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	各家庭教育学級運営委員会	
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	家庭教育学級で開催する講座等の企画・運営
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	8,306	7,843	8,286	7,779	7,962
人件費職員数(人)	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	3,268	3,160	3,221	3,221	3,178
総事業費(A+B)	11,574	11,003	11,507	11,000	11,140
特定財源(C)	27	22	22	11	15
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	27	22	22	11	15
市負担(D)	11,547	10,981	11,485	10,989	11,125
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	11,547	10,981	11,485	10,989	11,125
財源計(C+D)	11,574	11,003	11,507	11,000	11,140

所属	まなびの支援課
事務事業番号	00941

2頁
平成30年 6月 8日
16時07分17秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	家庭教育学級の開設学級数	学級	目標値	36.00	36.00	36.00
			実績値	22.00	20.00	
			達成度(%)	61.10	55.60	
目標値の積算方法	小学校区に1学級開設した場合の開設学級数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	500.14	550.00	
			一般財源(千円)	499.14	549.45	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	家庭教育学級の延参加者数	人	目標値	3,600.00	3,600.00	3,600.00
			実績値	4,650.00	3,487.00	
			達成度(%)	129.20	96.90	
目標値の積算方法	小学校区に1学級開設した場合の全開設学級数×1学級あたり目標参加者数100人(年5回×20人)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	2.37	3.15	
			一般財源(千円)	2.36	3.15	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容	達成状況

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。</p> <p>【指数数値の評価】 開設学級数と比較すると参加者数の割合は多く、一定の成果は出ているが改善の余地がある。</p> <p>【今後の方向性】 市民のさまざまな学習ニーズに応えるため、テーマを幅広く取り上げる必要がある。また、社会教育として受講者数に関わらず取り組まねばならないテーマもあるため、受講者数だけの事業評価は困難である。講座内容の充実を図ったり、既存の方法を常に見直し、より効果的な事業内容を検討する必要がある。具体的には、子育て講座について、地域でより身近に学習できる環境づくりのため地区公民館と共催で実施をする等、地域の状況及びニーズに応じた講座を展開していく。</p>

事務事業分析シート

所属名	まなびの支援課	事業名	生涯学習講座等事業	事業区分	その他
事務事業番号	941				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点		
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点		
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>公平性についてはほぼ適正と言えるが、妥当性、有効性、効率性、持続可能性について改善の余地がある。妥当性については社会状況の変化等に対応した事業内容の見直しが必要である。有効性については、目標に対しても進捗状況が不十分であるため、さらなる検討が必要である。効率性については、社会教育施設等の施設を生かし、既存の事業と連携しながら実施する等の事業効率の向上について検討が必要である。持続可能性についても、事業内容の見直しや情報発信の充実などにより、さらに効果的な事業にできる余地があると考えられる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

本事業の中には、障がいのある市民向けの講座が2講座あり(聴覚障がい者教養講座、視覚障がい者活動講座)、いずれもおおむね月1回程度開催されており、また、土日や夜間に実施するなど、他の市町村に比べて障がいのある人が学ぶ機会が多くなっている点が特長である。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
16時09分54秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002010100	まなびの支援課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00942	地域交流室運営事業								
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり								
節	02	生涯にわたり楽しく学べるまちづくり								
細節	10	生涯学習推進体制の充実								
予算事業	11001	01	10	05	10	02	01	01	地域交流室運営事業（生涯学習費）	
所属長	小西 正晃								担当者（内線）	荻野（IP45-669-308）
根拠法令等	社会教育法、地域交流室等開放実施要領									
事業開始年度	平成10年度 直近の改正 平成24年度									
改正内容	近隣公共施設の整備状況や桃山台小学校の児童数増加による学校教室の不足が見込まれる等の理由により、桃山台小学校地域交流室を平成25年3月末で廃止									
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）									

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	生涯学習や地域活動を行う団体		
目標	山手小学校の教室を地域住民が利用できる地域交流室として開放し、生涯学習活動を支援する。		
結果	市民の自主的学習、文化、交流活動が活性化し、学校・家庭・地域社会の連携に寄与することにより生涯学習社会の形成を図る。		
事業概要	山手小学校の教室を、地域住民が利用できる地域交流室として市民へ開放することにより、学習活動を支援する。なお、近隣公共施設の整備状況により、平成30年度末で山手小学校地域交流室は廃止する。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	吹田シルバー人材センター
		委託先②	株式会社 FUDO
		委託先③	
	主な委託内容		受付等業務、清掃業務
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,835	1,817	1,891	1,848	17,642
人件費職員数(人)	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	409	395	403	403	398
総事業費(A+B)	2,244	2,212	2,294	2,251	18,040
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	2,244	2,212	2,294	2,251	18,040
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,244	2,212	2,294	2,251	18,040
財源計(C+D)	2,244	2,212	2,294	2,251	18,040

所属	まなびの支援課
事務事業番号	00942

2頁
平成30年 6月 8日
16時09分54秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	地域交流室の利用件数	件	目標値	300.00	300.00	150.00
			実績値	461.00	424.00	
			達成度(%)	153.70	141.30	
目標値の積算方法	毎月25件(休室日である水曜日以外毎日1件利用)地域交流室を利用する場合の年間利用件数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	4.80	5.31	
			一般財源(千円)	4.80	5.31	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	地域交流室の利用人数	人	目標値	3,000.00	3,000.00	1,500.00
			実績値	6,157.00	5,685.00	
			達成度(%)	205.20	189.50	
目標値の積算方法	毎月250人(毎月25件、1件10人が利用した場合)が地域交流室を利用する場合の年間利用人数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.36	0.40	
			一般財源(千円)	0.36	0.40	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 ■ 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。</p> <p>【指数数値の評価】 目標を上回っており事業成果は妥当である。</p> <p>【今後の方向性】 山手地区公民館の狭隘が建替えにより解消され、地域住民の生涯学習の場が確保されるにいたる平成30年度末には当該事業を廃止する。</p>

事務事業分析シート

所属名	まなびの支援課	事業名	地域交流室運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	942				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	12	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		b. 滞納等に対して、適正な措置を講じているが、収納率には課題がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	70	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<div style="text-align: center;"> </div>		
(3)現状分析	<p>妥当性、公平性について改善の余地がある。現状としては、利用者は地域交流室の趣旨を理解し、円滑に利用されているため、市民の学習活動に役立っていると言えるが、今後、近隣公共施設の整備状況により、事業を廃止する予定である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

山手地区公民館が竣工する平成30年度末で、地域交流室事業は廃止する。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
16時13分08秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002010100	まなびの支援課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00943	小・中学校教室開放事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	02	生涯にわたり楽しく学べるまちづくり							
細節	10	生涯学習推進体制の充実							
予算事業	11002	01	10	05	10	03	01	01	小・中学校教室開放事業（生涯学習費）
所属長	小西 正晃			担当者（内線）荻野（1P45-669-308）					
根拠法令等	社会教育法、第3次生涯学習（案習）推進計画、吹田市立小・中学校教室開放の利用要領								
事業開始年度	平成15年度	直近の改正			なし				
改正内容	なし								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	校区内の公共的団体、社会教育団体及び学習・文化・コミュニティ等の団体		
目標	小・中学校の施設を有効活用し、地域の生涯学習の振興や教育コミュニティづくりを進める。		
結果	市民の自主的学習、文化、交流活動が活性化し、学校・家庭・地域社会の連携に寄与することにより生涯学習社会の形成を図る。		
事業概要	<p>すべての市立小学校の多目的教室と一部の小学校の特別教室を学校教育に支障のない範囲で無料で開放し、地域の学習活動等の場として利用してもらうことにより地域の生涯学習の振興や教育コミュニティづくりを進める。（千里丘北小学校以外）</p> <p>中学校については、現在、利用希望団体がすべて小学校で利用ができていないため、未実施である。</p>		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
			主な委託内容
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	19	9	9	8	9
人件費職員数(人)	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	409	395	403	403	398
総事業費(A+B)	428	404	412	411	407
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	428	404	412	411	407
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	428	404	412	411	407
財源計(C+D)	428	404	412	411	407

所属	まなびの支援課
事務事業番号	00943

2頁
平成30年 6月 8日
16時13分08秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	小・中学校教室開放事業の利用団体登録数	団体	目標値	36.00	36.00	36.00
			実績値	56.00	15.00	
			達成度(%)	155.60	41.70	
目標値の積算方法	市内小学校教室開放において各学校1団体の登録を目標とする	単位当たりコスト	総事業費(千円)	7.21	27.40	
			一般財源(千円)	7.21	27.40	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	小・中学校教室開放事業の利用件数	件	目標値	180.00	180.00	180.00
			実績値	171.00	205.00	
			達成度(%)	95.00	113.90	
目標値の積算方法	市内小学校教室開放において各学校5件の利用を目標とする	単位当たりコスト	総事業費(千円)	2.36	2.00	
			一般財源(千円)	2.36	2.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。</p> <p>【指標数値の評価】 団体登録数は少ないものの、利用件数は多く事業の必要性は増している。</p> <p>【今後の方向性】 利用者が学校教育の趣旨を理解して、円滑に利用されており、市民の学習活動に役立っている。地域の団体の身近な学びや活動の場として小学校の多目的教室や特別教室を開放することで、市民の生涯学習の支援をすることは有意義であるため今後も継続する。</p>

事務事業分析シート

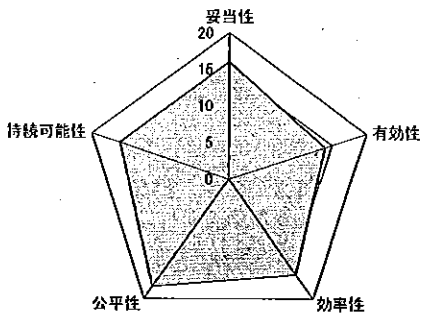
所属名	まなびの支援課	事業名	小・中学校教室開放事業	事業区分	その他
事務事業番号	943				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
b. 実施意義は今もある。(3点)	3点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点		
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点		
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・視観がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	80	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>公平性については適正と言えるが、有効性について改善の余地がある。利用者は学校教育の趣旨を理解し、円滑に利用しており、市民の学習活動に役立っている。市報やホームページで周知を図ったが、今後も広報を推進していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

他の市町村においては、公民館の分館の事業実施場所として活用している事例があるが、すべての小学校の多目的教室を無料で生涯学習活動にかかる団体に開放し、生涯学習活動の場として提供している取組は近隣市では本市のみである(有料で開放している自治体あり)。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月14日
16時00分11秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002010100	まなびの支援課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00944	地区公民館耐震化事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	02	生涯にわたり楽しく学べるまちづくり		
細節	20	社会教育施設等における生涯学習の推進		
予算事業	11003	01	10	05 11 01 01 01 地区公民館耐震化事業（公民館改修費）
所属長	小西 正晃		担当者（内線）市場（669-306）	
根拠法令等	建築物の耐震改修の促進に関する法律に基づく、市有建築物の耐震化促進計画			
事業開始年度	19	直近の改正		27
改正内容	吹田市公民館条例について、千一地区公民館の位置表示の変更及び使用料の改定			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ● 建設事業 ○ その他		
対象	14地区公民館		
目標	耐震診断の結果、現在の基準に満たない場合は耐震補強工事を行ない、建物の安全性の向上を図る。		
結果	災害時の安全な避難所となる		
事業概要	昭和56年（1981年）5月以前の建築基準法に基づいて設計された地区公民館20館のうち、岸一・南千里・吹二・千一・南吹田・山手を除く14館について耐震診断を実施し、基準に満たない場合は耐震補強工事を行なう。 H29 診断（吹六） 2,307,960円		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	委託先①	（株）小西設計
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	①吹六耐震診断
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

（千円）

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	5,658	3,842	2,896	2,308	300
人件費職員数(人)	0.30	0.30	0.40	0.40	0.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	2,451	2,370	3,221	3,130	1,589
総事業費(A+B)	8,109	6,212	6,117	5,438	1,889
特定財源(C)	1,167	879	965	389	0
国	1,167	879	965	389	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	6,942	5,333	5,152	5,140	1,889
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	6,942	5,333	5,152	5,140	1,889
財源計(C+D)	8,109	6,212	6,117	5,529	1,889

所属	まなびの支援課
事務事業番号	00944

2頁
平成30年 8月14日
16時00分11秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	平成19年度(2007年度)からの耐震診断の実施総数	件	目標値	14.00	14.00	0.00
			実績値	10.00	0.00	
			達成度(%)	71.40	0.00	
目標値の積算方法	平成29年度(2017年度)までに、対象となる14館の耐震診断を実施する。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	621.20	0.00	
			一般財源(千円)	533.30	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	耐震診断の件数	件	目標値	2.00	1.00	0.00
			実績値	2.00	1.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	毎年1館以上、耐震診断を実施する。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	3,106.00	5,438.00	
			一般財源(千円)	2,666.50	5,140.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。</p> <p>【今後の方向性】 計画の策定当初は18館の耐震化を進める予定であったが、策定後2館の建替えが決定し対象も16館に減った。今後も建て替え予定の館が2館あり、計画の終期も平成33年度から平成31年度に早まっている。</p>

事務事業分析シート

所属名	まなびの支援課	事業名	地区公民館耐震化事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	00944				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点	
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1点	
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点	
(3) 効率性 (20点)	10	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点	
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点	
(4) 公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		c. 迅速なサービス提供はあまり考えていない。(1点)	1点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1点	
(5) 持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点	
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点	
(5) 持続可能性 (20点)	16	④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点	
評価点合計 (100点満点)	80	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。		
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点	
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<div style="text-align: center;"> </div>		
(3)現状分析	<p>本市の公民館は災害時に市民の安全を守る避難所の一つに指定されていることから、平成19年3月に策定された「市有建築物耐震化促進計画」において、耐震化の対象施設と位置付けられた。この計画では建築基準法上の旧耐震基準に基づいて建てられた公民館20館のうち、建替え済みの館(岸一・兩千里・吹二)及び建替え予定等の館(千一・南吹田・山手)の6館を除く14館の耐震診断および耐震改修について平成19年度(2007年度)から平成31年度(2019年度)までの13年間で耐震化100%となるように年次的に進めていくものである。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月14日
16時01分01秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002010100	まなびの支援課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00945	地区公民館改修事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	02	生涯にわたり楽しく学べるまちづくり							
細節	20	社会教育施設等における生涯学習の推進							
予算事業	11004	01	10	05	11	01	01	02	地区公民館改修事業（公民館改修費）
所属長	小西 正晃			担当者（内線）市場（669-306）					
根拠法令等	社会教育法、吹田市公民館条例								
事業開始年度	57	直近の改正			27				
改正内容	吹田市公民館条例について、千一地区公民館の位置表示の変更及び使用料の改定								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input checked="" type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	地区公民館28館（吹一分館、南千里を除く）		
目標	バリアフリー化や時代の変遷に伴い必要とされる設備の更新等を行い、より利用されやすい公民館を目指す。		
結果	老朽化やバリアフリー化等に対応することにより、より利用のしやすい生涯学習活動の拠点となる。		
事業概要	地区公民館の老朽化に伴い、建設又は前回改修後の年数の長い館から順に大規模改修を行い、老朽化への対応、バリアフリー化等時代に即した内容に対応する。 H29 吹田東 外壁改修 8,283,600円 江坂大池 大規模改修設計 3,729,240円		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	三栄建設（株）
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	吹田東地区公民館外壁改修工事ほか
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	130,090	112,372	15,026	12,013	81,939
人件費職員数(人)	0.70	0.70	0.40	0.40	0.40
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	5,719	5,530	3,221	3,130	3,178
総事業費(A+B)	135,809	117,902	18,247	15,143	85,117
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	135,809	117,902	18,247	15,234	85,117
地方債	0	0	0	0	61,400
その他	0	0	0	0	0
一般財源	135,809	117,902	18,247	15,234	23,717
財源計(C+D)	135,809	117,902	18,247	15,234	85,117

所属	まなびの支援課
事務事業番号	00945

2頁
平成30年 8月14日
16時01分01秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	改修の件数	件	目標値	6.00	1.00	1.00
			実績値	6.00	1.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	毎年1館、大規模改修工事を実施する。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	19,650.33	15,143.00	
			一般財源(千円)	19,650.33	15,234.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	改修の件数	件	目標値	6.00	1.00	1.00
			実績値	6.00	1.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	毎年1館、大規模改修工事を実施する。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	19,650.33	15,143.00	
			一般財源(千円)	19,650.33	15,234.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。</p> <p>【今後の方向性】 地域の生涯学習の拠点として、地区公民館の担う役割は大きく、老朽化した施設への対応は市が責任を持って計画的に進めていく必要があると考える。</p>

事務事業分析シート

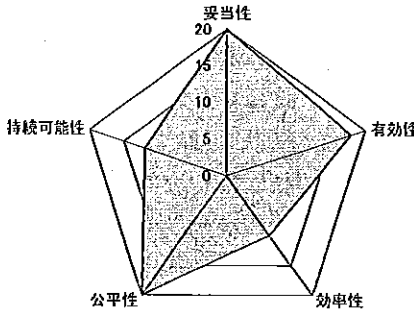
所属名	まなびの支援課	事業名	地区公民館改修事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	00945				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	10	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 c. 迅速なサービス提供はあまり考えていない。(1点)	1点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 o. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 o. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>地区公民館は、開館または前回改修後の年数の経過した館から順番に改修を実施している。大規模改修では、老朽化への対応やバリアフリー対策をはじめ、時代の変遷に伴い必要となる設備の導入などを進めるとともに、公民館関係者や利用者の意見・要望をできるだけ反映した改修となるよう努めている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
16時19分01秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002010100	まなびの支援課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00947	夢と希望を広げる出会い事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	02	生涯にわたり楽しく学べるまちづくり							
細節	10	生涯学習推進体制の充実							
予算事業	11339	01	10	05	10	04	01	01	夢と希望を広げる出会い事業（生涯学習費）
所属長	小西 正晃			担当者（内線）荻野（IP45-669-308）					
根拠法令等	第3次吹田市生涯学習（楽習）推進計画、夢と希望を広げる出会い事業実施要領								
事業開始年度	平成25年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	市内小・中学校の児童・生徒等を主とした吹田市民		
目標	吹田に縁（ゆかり）がある、様々な分野で活躍する方々と出会う場を設け、講演や実技指導をしていただく。		
結果	吹田に縁（ゆかり）がある、様々な分野で活躍する方々の話を聞くことにより、夢や目標を持って努力することの素晴らしさを学び、将来の生き方を考える機会を提供する。		
事業概要	児童・生徒等が、吹田に縁（ゆかり）があり、優れたキャリアを有し、様々な分野で活躍する方々と出会う場を設け、講演や実技指導を通じて、夢や目標を持って努力することの大切さを学び、将来の生き方を考える機会を提供する。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
	□ 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
□ その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	220	120	220	137	175
人件費職員数(人)	0.60	0.40	0.40	0.40	0.40
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,902	3,160	3,221	3,221	3,178
総事業費(A+B)	5,122	3,280	3,441	3,358	3,353
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	5,122	3,280	3,441	3,358	3,353
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	5,122	3,280	3,441	3,358	3,353
財源計(C+D)	5,122	3,280	3,441	3,358	3,353

所属	まなびの支援課
事務事業番号	00947

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	夢と希望を広げる出会い事業の実施回数	回	目標値	5.00	5.00	5.00
			実績値	5.00	6.00	
			達成度(%)	100.00	120.00	
目標値の積算方法	小・中学校の授業において3回、地域教育協議会の地域行事において2回実施することを目標とした場合の実施回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	656.00	559.67	
			一般財源(千円)	656.00	559.67	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	夢と希望を広げる出会い事業の参加者数	人	目標値	2,250.00	2,250.00	2,250.00
			実績値	2,679.00	2,755.00	
			達成度(%)	119.10	122.40	
目標値の積算方法	各回に50人、スタジアムでの講演2000人、参加した場合の参加者数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1.22	1.22	
			一般財源(千円)	1.22	1.22	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。【指標数値の評価】 目標を上回っており事業成果は妥当である。</p> <p>【今後の方向性】 児童・生徒等が、吹田に縁(ゆかり)があり、優れたキャリアを有し、様々な分野で活躍する方々と出会い、講演や実技指導を通じて、夢や目標を持って努力することの大切さを学ぶことにより、将来の生き方を考える機会となると考える。本事業は、子どもへの生涯学習の場として学習機会の提供をするものであり、事業内容についてのニーズを把握することが課題である。また本事業趣旨に賛同して講演をしてくださる講師は、徐々に増えつつあり、さまざまな分野で活躍する講師が協力くださるようになった。</p> <p>また、市立吹田サッカースタジアムにおいて、希望する小学校4年生を対象に、夢と希望を広げる出会い事業と市民ふれあい事業を共催で実施することが平成28年度より可能となったため、受講者数が劇的に増えたことは、より多くの子ども達に夢や希望、感動を与えることができたのではないかと考える。今後も継続して、関係部局と連携を図り、充実した事業としていきたい。</p>

事務事業分析シート

所属名	まなびの支援課	事業名	夢と希望を広げる出会い事業	事業区分	その他
事務事業番号	947				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	まなびの支援課	事務事業番号	947
-----	---------	--------	-----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成28年度より、文化スポーツ推進室との共催により市立吹田サッカースタジアムにおいて、市内の希望する小学校の4・5年生を対象に、新たな形式での事業展開を始動した。また、本事業趣旨に賛同して下さる講師も、徐々に増えつつあり、児童や生徒、その保護者にとって、夢や希望を持つことの素晴らしさを提供する機会になっていると考察する。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

大阪市において、元スポーツ選手を小学校に講師として派遣する事業(体力増進を目的とする)があるが、本市の事業はスポーツ選手に限らず、大学教員や声楽家などさまざまな分野で活躍し、かつ吹田市にゆかりのある方の講演と実技披露を子どもたちやその保護者などに届けることにより、あきらめない心や夢や目標をもっていきっていくことの大切さについて、学ぶ機会を提供している。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月14日
16時29分16秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002010100	まなびの支援課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00948	南吹田地区公民館新築事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	02	生涯にわたり楽しく学べるまちづくり		
細節	20	社会教育施設等における生涯学習の推進		
予算事業	11378	01	10	05 11 01 01 03 南吹田地区公民館新築事業（公民館改修費）
所属長	小西 正晃		担当者（内線）市場（669-306）	
根拠法令等	社会教育法 吹田市公民館条例			
事業開始年度	H26	直近の改正		27
改正内容	吹田市公民館条例について、千一地区公民館の位置表示の変更及び使用料の改定			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ● 建設事業 ○ その他		
対象	南吹田地区公民館		
目標	バリアフリー化や時代の変遷に伴い必要とされる設備の設置等を行い、より利用されやすい公民館を目指す。		
結果	狭あいや老朽化を解消するとともに、バリアフリー化に対応することにより、より利用しやすい生涯学習活動の拠点となる。		
事業概要	狭あいや老朽化した南吹田地区公民館を、移転建て替えを行う。 南吹田地区公民館建設工事に伴う管更生工事 南吹田地区公民館建設工事 南吹田地区公民館建設工事監理業務		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	委託先①	(株)橋本工務店
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先②	吹田土木興業(株)ほか
		委託先③	(株)林設計事務所
		主な委託内容	南吹田地区公民館建設工事ほか
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
		交付先②	
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	122,253	41,618	227,599	94,845	0
人件費職員数(人)	0.40	0.40	1.10	1.10	0.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	3,268	3,160	8,858	8,606	0
総事業費(A+B)	125,521	44,778	236,457	103,451	0
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	125,521	44,778	236,457	103,451	0
地方債	0	0	137,400	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	125,521	44,778	99,057	103,451	0
財源計(C+D)	125,521	44,778	236,457	103,451	0

所属	まなびの支援課
事務事業番号	00948

2頁
平成30年 8月14日
16時29分16秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	新築工事の件数	件	目標値	1.00	1.00	0.00
			実績値	1.00	1.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	4ヶ年で新築工事を実施する	単位当たりコスト	総事業費(千円)	44,778.00	103,451.00	
			一般財源(千円)	44,778.00	103,451.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	新築工事の件数	件	目標値	1.00	1.00	0.00
			実績値	1.00	1.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	4ヶ年で新築工事を実施する	単位当たりコスト	総事業費(千円)	44,778.00	103,451.00	
			一般財源(千円)	44,778.00	103,451.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。</p> <p>【今後の方向性】 地域の生涯学習の拠点として、地区公民館の担う役割は大きく、老朽化した施設への対応は市が責任をもって計画的に進めていく必要があると考える。</p>

事務事業分析シート

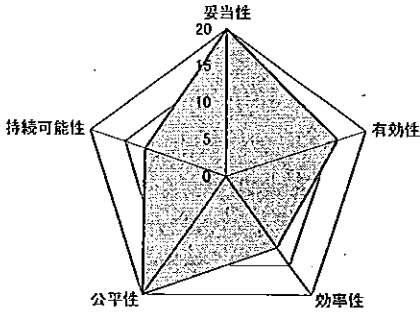
所属名	まなびの支援課	事業名	南吹田地区公民館新築事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	00948				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		c. 迅速なサービス提供はあまり考えていない。(1点)	1点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て)	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>南吹田地区公民館(昭和43年(1968年)9月供用開始、延床面積220㎡)は、延床面積330㎡に満たない狭隘な公民館である。地元からも建替えの強い要望があり、移転建替えを進める。平成29年度南吹田地区公民館建設工事(管更生工事)実施。平成29年度～平成30年度南吹田地区公民館建設工事実施。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月14日
16時19分48秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002010100	まなびの支援課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01345	山手地区公民館新築事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	02	生涯にわたり楽しく学べるまちづくり		
細節	20	社会教育施設等における生涯学習の推進		
予算事業	11006	01 10 05 11 01 01 04	山手地区公民館新築事業（公民館改修費）	
所属長	小西 正晃	担当者（内線） 市場（669-306）		
根拠法令等	社会教育法、吹田市公民館条例			
事業開始年度	25	直近の改正 27		
改正内容	吹田市公民館条例について、千一地区公民館の位置表示の変更及び使用料の改定			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ● 建設事業 ○ その他		
対象	山手地区公民館		
目標	バリアフリー化や時代の変遷に伴い必要とされる設備の設置等を行い、より利用されやすい公民館を目指す。		
結果	狭隘や老朽化を解消するとともに、バリアフリー等に対応することにより、より利用のしやすい生涯学習活動の拠点となる。		
事業概要	狭隘で老朽化した山手地区公民館について、鉄道建設・運輸施設整備支援機構が山手町1丁目内に所有している土地の一部を取得し、山手地区高齢者いこいの間と一体的な移転建替えを行う。 山手地区公民館実施設計業務 山手地区公民館建設工事ほか 山手地区公民館建設に伴う支障通信線移設		
実施方法	■ 直接実施	委託先①	(株) 芦沢設計
	■ 委託又は一部委託	委託先②	森繁建設(株) ほか
		委託先③	
		主な委託内容	建設工事設計業務及び建設工事
	□ 補助金・負担金	交付先①	
		交付先②	
交付先③			
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	19,432	4,879	25,016	21,482	208,520
人件費職員数(人)	0.60	0.60	0.60	0.60	1.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	4,902	4,740	4,832	4,694	9,534
総事業費(A+B)	24,334	9,619	29,848	26,176	218,054
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	24,334	9,619	29,848	26,314	218,054
地方債	0	0	0	0	150,300
その他	0	0	0	0	0
一般財源	24,334	9,619	29,848	26,314	67,754
財源計(C+D)	24,334	9,619	29,848	26,314	218,054

所属	まなびの支援課
事務事業番号	01345

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	新築工事の件数	件	目標値	0.00	1.00	1.00
			実績値	0.00	1.00	
			達成度(%)	0.00	100.00	
目標値の積算方法	3ヶ年で新築工事を実施する	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	26,176.00	
			一般財源(千円)	0.00	26,314.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	新築工事の件数	件	目標値	0.00	1.00	1.00
			実績値	0.00	1.00	
			達成度(%)	0.00	100.00	
目標値の積算方法	3ヶ年で新築工事を実施する	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	26,176.00	
			一般財源(千円)	0.00	26,314.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。</p> <p>【今後の方向性】 地域の生涯学習の拠点として、地区公民館の担う役割は大きく、狭隘かつ老朽化した施設への対応は市が責任を持って計画的に進めていく必要があると考える。</p>

事務事業分析シート

所属名	まなびの支援課	事業名	山手地区公民館新築事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01345				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	10	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		c. 迅速なサービス提供はあまり考えていない。(1点)	1点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(6点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	78	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>山手地区公民館(昭和43年1968年)4月供用開始、延床面積205㎡)は、延床面積330㎡に満たない狭隘な公民館である。地元からも建替えの強い要望があり、山手地区高齢者いこいの間と一体的な移転建替えを進める。 平成28年度～平成29年度山手地区公民館建設工事に伴う実施設計を実施。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)